

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	麻生区第3グループ(白山・麻生)	評価対象年度	平成24年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	麻生区役所こども支援室

2. 事業実績

利用実績	1 白山こども文化センター ①年間延べ利用者数 23,317人 ②年間延べ利用団体数 1,058団体 2 真福寺小学校わくわくプラザ ①登録者数 173人 ②年間延べ利用者数 8,238人 1 麻生こども文化センター ①年間延べ利用者数 20,163人 ②年間延べ利用団体数 238団体 2 麻生小学校わくわくプラザ ①登録者数 403人 ②年間延べ利用者数 12,714人
収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 77,839,186 2 支出 人件費 64,245,570 事業費 4,453,479 事務経費 8,546,516 その他経費 150,942 合計 77,396,507 3 差引 442,679
サービス向上の取組	子ども運営会議、保護者懇談会、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、活動や運営に反映。グループ単位のスケールメリットを活かした交流行事・事業の実施。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
(評価の理由) 白山こども文化センターについては、白山保育園と連携し、専門性の高い保育士、栄養士、看護師の協力を得た乳幼児支援「びよびよらんど」に力を入れ、麻生こども文化センターとも合同開催するなど、広範囲に乳幼児親子の利用者増につなげた。また、音楽室を積極的に活用し、幅広い年齢層の利用者増につなげている。麻生こども文化センターについては、運営協議会、子ども会連合会等の地域団体と連携して、「ジャガイモ掘り」「サツマイモ掘り」等地域性豊かな行事を実施し、小学生の利用者増につなげている。また、継続的な乳幼児支援として、地域子育て支援団体やボランティアと連携した「みどりのへや」「まころん」を実施し、着実に乳幼児親子の利用者増につなげている。事業計画、仕様書のとおり事業が実施されており、こども文化センターにおける年間延べ利用者が昨年度に比べて約7%増加している。わくわくプラザにおいても、適切に児童の受け入れが行われている。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費縮減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
支出に見合う効果が得られているか					
(評価の理由) 会計処理及び金銭管理については、適切に処理されている。経費の縮減にも、具体的な取り組みが見られた。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	3	3
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	3	6
<p>(評価の理由) 毎月のおたよりの発行や、ホームページだけでなく、かわさきFMや地域情報誌を活用し、より広範囲に広報を実施しようと努めている。また、中学生向けのおたよりを掲示板等で周知し、行事の企画やボランティアとしての参加の呼び掛けも実施している。利用者への対応について、適切に取組が実施されている。運営協議会及び保護者懇談会を計画通り実施している。また、白山保育園と連携した「びよびよらんど」、地域教育会議主催の「ひだまり大作戦」への参加など学校・地域等と連携した取組が実施されているほか、職員の声掛けにより児童が自主的に敷地内や近隣公園等の清掃を行うようになり、児童が麻生警察署から善行表彰を受けたことを評価する。アンケートや意見箱など、利用者のニーズを聞く仕組みがあり、有効に機能している。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		こども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	3	6
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
<p>(評価の理由) 児童福祉施設最低基準及び仕様書に基づき、利用児童数や特別な支援を必要とする児童などの状況に応じて、適切に加配がなされており、円滑な事業運営が行われている。また、施設近隣住民の採用を行うなどの工夫を行い、さらにこれを経費の縮減につなげている。市主催の研修や財団による研修など、職員のスキルアップに必要な研修が適切に実施されている。個人情報についても、取扱が適正に行われている。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応をしているか			
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	4	4
		災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか			
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
<p>(評価の理由) 施設設備の保守点検・整備や備品管理等については、適切に実施されている。安全管理や衛生管理について、マニュアル等を整備し適切に対応がされている。防災に関して、発電機や簡易トイレ、防災カーテン、飛散防止型蛍光灯等の施設整備を実施している点を評価する。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	65	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

長年にわたって蓄積された市民活動への援助等の経験や、指定管理期間以前からこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を活かすとともに、全市53施設の指定管理者としてのスケールメリットを活かしての合同行事や職員研修の実施、及び経費縮減への取組み等、偏りのないサービスの提供を行うことができている。
また、経費縮減だけでなく、その残った経費について当初予算にあげていない備品、消耗品の購入及び修繕の実施等、利用者への還元を積極的に行っていることは評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、こども文化センター及びわくわくプラザの利用者が安心して利用できるような環境の整備を図るとともに、研修等を通じて、スタッフのスキル向上への取組みに努めていただきたい。